

(様式第4号)

上田市博物館協議会 会議概要

1 審議会名	令和3年度上田市博物館協議会（書面審議）
2 日時	令和4年3月23日
3 会場	
4 意見書 提出者	児玉会長、小宮山会長代理、矢島委員、矢嶋委員、鎌田委員、神戸委員、若林委員、 前澤委員、寺島委員
5 市側出席者	和根崎市立博物館長、尾見信濃国分寺資料館長、川上庶務学芸係長
6 公開・非公開	☒ 公開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和4年3月26日

協 議 事 項 等

例年3月に上田市博物館協議会を開催していたが、3月上旬においても未だ上田市の新型コロナウイルス感染警戒レベル5のため、書面審議とする。ついては、事前に送付した資料について、期限までに意見書をいただき、会議概要としてまとめる。

1 書面審議事項

- (1) 市立博物館の令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画案 資料1
- (2) 信濃国分寺資料館の令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画案 資料2
- (3) その他報告事項等(令和4年度開館時間、上小郷土研究会役員による古文書整理作業、丸子郷土博物館・公文書館共同企画展お知らせ) 資料3

2 意見書内容

(1) について

- ・「新収蔵資料展」の趣旨と概要結構と思う。関連して、令和2年度に購入した「作事方関係文書」197点、内容は初見のものがあ、整理考究し展示して欲しいと思う。
- ・本年度企画展は、「風致維持向上計画」が動き出すタイミングでよいと思うが、城と城下以外に渡るテーマはないものかと自分でも難しいと思っている。
- ・企画展「千曲川の赤い鉄橋～」は、展示を見た方が自分の経験とかさね合わせて、少し前の上田の状況を思い出し懐かしむ良い展示だった。赤い鉄橋の復興と重ねてタイムリーな企画だった。「戦国武将～」の特別展は、日頃上田では見られない展示品を揃えてあり興味深く拝見した。コロナ流行のため様々な関係の事業、行事、活動の中止、企画展の期間短縮、人数制限など仕方がないことだが残念だった。
- ・令和3年度の別所線復興記念企画展は、とても期待された展覧会だったと思う。臨時休館もある中で6,800人余りの入館者があったことは非常に嬉しい限り。本来なら、広報活動をより強化して、大勢の方々にご来館いただきたいところではあったが、感染対策を考慮しての休館や様々な事業縮小かと拝察する。
令和4年の企画展も上田城と城下町というテーマに沿った上田市立博物館に相応しい展覧会と期待している。
- ・令和4年度秋季企画展は、上田城について市民の関心が今一度高まるよう、力を入れて頂きたい。準備過程で新しい史料が発掘されることを期待する。
- ・近世上田の歴史を考えるよい企画だと思った。また現在の別所線復興に関し、その歴史を親しみやすく展示されていてよかった。
- ・令和3年度企画展のうち、美術館と合同で開催された企画展は、風景や花々の美しさを楽しめたよ

うだ(友人談)。別所線の企画展では、別所線の思い出も蘇り見応があった。五島慶太氏の話しは父から聞いたことがあった。展示のなかで、別所線の車輛は東急電鉄と知った。来年度の企画展にも期待する。

- ・ 普段の(パート職員による)古文書整理も大事な事業であり、今後報告があってもよいのではないかな。
- ・ 新年度講座の私(寺島委員)が担当させていただく 11/10 の内容は、よろしければ「上田築城・城下町形成の再考」でお願いしたいがよろしいかな。

(2) について

- ・ 過去の発掘成果をその後の研究で考究した新たな見解を展示で公開、世に問うことは良い事と思う。
- ・ 半過地区の展示、多くの市民の方々には初公開に近いと思う。若い世代に伝える意味でも大切だと思う。
- ・ りっぱな図録が刊行され、いつもながら、地道な調査・研究が行われた成果を見せていただいた。少ない人数で頑張っている様子が見受けられた。
- ・ 「上田盆地の玉作り遺跡～社軍神遺跡～」の図録は導入部分が分かりやすく説明されていた。
- ・ 昨年は足を運ぶことができなかったが、興味深いタイトルだった。
- ・ 令和3年度の企画展入館者数を参考までに知りたかった。展覧会内容は専門的な内容をどのように来館者に興味を持ってもらうか、今後も注視している。前回会議で依頼したワークショップの開催について、悉く中止の文字が並び大変残念。引き続き善処し対応してほしい。
- ・ 各種の企画に御努力されているのにコロナ禍で申し訳ない気持ちで一杯。講座等も来年こそ、確実に行なわれることを願っている。

(3) について

- ・ 少しでも古文書整理のお役に立て、嬉しく思う。他の役員の方々と話しをする機会が増え、勉強にもなり、情報交換の場にもなっている。今後も続けてお手伝いしたいと思う。
- ・ 上記とは別に、年間を通して、古文書の整理などをする人員の確保は、今後のためにも必要と思う。担当職員(臨時職員も)の採用なども考えてほしい。
- ・ 資料整理に市民有志の力を借りる取り組みは、他の分野でも活用できる可能性を感じる。
- ・ 上小郷土研究会の有志による古文書整理作業が始まったということで良かった。定期的開催されるとのことで今後の活動を期待する。
- ・ 古文書の整理等、大変御苦勞様です。製糸等の展示を楽しみにしている。

(4) その他意見

- ・ (市立博物館の) 春の企画展として続いていた雛人形展の開催がなく個人的に残念。他の企画も行っているのでは仕方ないことだが、一画のみに雅な雛の展示でもあれば華やぐのではないかなと思う。登録有形文化財に指定された「佐藤家住宅」の保存活用の取り組みは、持主の佐藤氏も今後苦慮されているため、市で行われたらありがたい。
- ・ (市立博物館の) 新収蔵資料について、この一、二年は何度か新聞紙上で拝見したが、それ以前はかなり良い資料が寄贈・購入されているにもかかわらず、周知が足りないように感じていた。今後とも積極的にプレスリリースしていただければと思う。
- ・ コロナ禍でいろいろな催物が延期や中止で大変だったと思う。
- ・ 今年度も関係者の方々が努力して開催して頂いた企画展だったが、コロナ感染を避けるため何うことができなかった。
- ・ 上田地域はコロナが減らない中、計画される方々や、古文書整理作業の皆様の御苦勞に御礼申し上げます。一日も早いコロナの終息を願っている。博物館協議会の皆様に感謝致します。
- ・ 多方面にわたり展示等あり、大変良いと思う。
- ・ 特にないが、地道な活動に敬意を表する。

3 意見書を受けて今後の対応

- ・コロナ禍での企画展や博物館事業について、様々な御意見をいただき、大変ありがたい。今後の企画展、講座、各種事業の参考とさせていただきたい。
- ・コロナ禍においても、十分な感染予防対策をしながら、魅力ある企画展や講座等の開催に努め、メディア等を活用した市内外への **PR** を行っていきたい。
- ・博物館の職員体制については、人事にも度々相談している。博物館・資料館では、令和4年3月末での退職者が2人おり、4月中は職員数が減少するため更に厳しい体制となる。業務見直し等を行いながら、令和4年度の事業計画を進めていきたい。